

レジャーダイビング認定カード普及協議会
(Cカード協議会)

2013年2月定例会議事録

- ◎ 開催期日：2013年2月14日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN
- ◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆BSAC JAPAN	株式会社BSAC	細川	俊一
☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝	佳紀
☆JP	JPインターナショナル	平川	大輔
☆JUDF	全日本潜水連盟	吉村	忍
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
		村上	史朗
☆SSI	株式会社SSIジャパン	牧野	孝哉
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
☆オブザーバー	株式会社 エスアイドゥ	市原	隆久
	静岡県ダイバーズ協議会	我妻	亨

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

- ① ダイビング高圧ガス安全協会、クリーンエア・プログラム普及啓蒙委員会、委員就任について(事務局宮下氏からの説明)
 - ・ ダイビング高圧ガス安全協会、クリーンエア・プログラム普及啓蒙委員会事務局宮下氏から、クリーンエア・プログラムについて説明があり、Cカード協議会から1名委員の選任の依頼があった。
 - ・ 宮下氏の説明では、クリーンエア・プログラムは、業界内のエア充填所を対象とし、充填エアの純度がJIS企画に準ずる事業所を認定していく制度で、有料にて運営するとのこと。
 - ・ 当日のC協定例会出席者の審議の結果、C協から委員を選任するが、同プログラムの認定制度については反対していくスタンスを取るようになった。
- ② Cカード協議会新規事業の提案
 - ・ PADI村上氏から、大学にダイビングの授業を提案するためには、大学の信頼を得られる人材育成が必要であり、この人材育成をCカード協議会事業として展開していく提案があった。
 - ・ これに対する審議の結果、人材育成事業を前向きに図ることが決定され、同事業の構築には社会スポーツセンターの日本体育協会公認スクーバ・ダイビング指導員資格を絡める必要性が強調され、この点が踏まえられた企画立案をしていくこととなった。
 - ・ また、大学の事情に詳しい元大学教授吉田先生に同事業の具体案を提案いただくことになった。(3月定例会で、具体案の内容確認を行うことになった。)
- ③ セーフティダイバー宣言カード新デザイン公募について
 - ・ 事務局よりセーフティダイバー宣言カード新デザイン公募告知について最終確認があった。
 - ・ 確認内容は以下の通り
 - 公募期限平成25年3月末
 - 採用作品の応募者には、賞状を授与する

④ その他

- 事務局より、加盟社が増加したことと老朽化を理由にC協紹介展示パネルを新規に作り直す提案があった。
- 審議の結果、既存の4枚全て作り直すことが決められ、費用は各社頭割りとすることになった。

以上